

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

池島小

学校

児童数

15

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.82	19.00	28.36	37.55	44.82	9.99	148.00	22.18	47.50
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.00	21.06	53.02
女子	16.00	22.75	37.25	44.00	32.25	9.83	142.50	19.50	58.00
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

はじめに、令和7年度の本校5年生児童の全国体力・運動能力、運動習慣等調査は男子11人、女子4人の計15人を調査したものである。したがって、統計的に資料不足であり、単純に大阪市平均・全国平均と比較することはできない。

男子は体力合計点で大阪市・全国平均を下回っており、種目ごとにみると「握力」「ソフトボール投げ」で大阪市・全国平均を上回ったが、それ以外の種目では下回っている。女子は体力合計点や多くの種目で、大阪市・全国平均を上回った。特に「反復横とび」「ソフトボール投げ」は大きく上回っている。

児童への運動に関するアンケート調査において、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対し、男子は9人が「好き」、2人が「やや好き」と回答し、女子は3人が「好き」、1人が「やや好き」と回答した。男女ともに「やや嫌い・嫌い」と回答した児童はいなかった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子・女子ともに0人であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、これまでに引き続き、休み時間に児童が外で体を動かして遊ぶ時間を増やすために「大縄跳び月間」「短縄跳び月間」「かけ足月間」の3つの取り組みを行った。それぞれの活動で、学級や個人で目標を持ち積極的に取り組んだり、進んで練習をしたりする姿が見られ、普段運動が苦手な児童も意欲的に運動することができた。

また、教職員が積極的に児童と遊ぶことで、年度当初から多くの児童が外で遊ぶ姿が見られ、楽しんで体を動かす習慣が身につけてきている。

体育の授業では、各学年人数が少ないため活動に合わせて合体を行い、チームや場づくりの工夫に取り組んだ。また全学年で、毎年引き継いでいる授業づくりと場づくりの記録を参考にし、各学年が児童の実態に合わせた授業を実施した。

本校は年々児童数が減少しており、10人前後の学年も複数あり、大人数で取り組むような運動は実施しにくい。反面、運動場や体育館の割り当てで困ることはなく、広々とした場所で運動をすることができる。人数が少ないので運動用器具の数も十分足りている。上述したような効果的な取り組みを継続しながら、小規模校である特色を生かすことができるような体育活動に取り組んでいきたい。

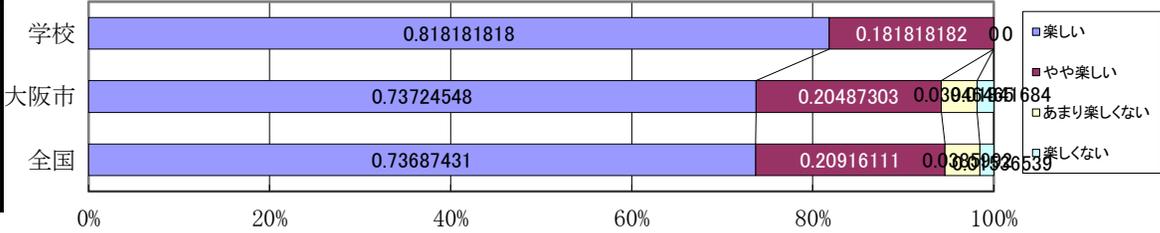
運動やスポーツ、体育の授業について（男子）

本校の特徴的な結果

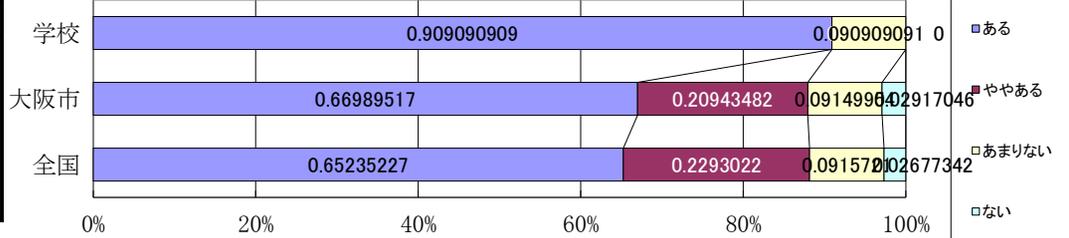
検証項目1
 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



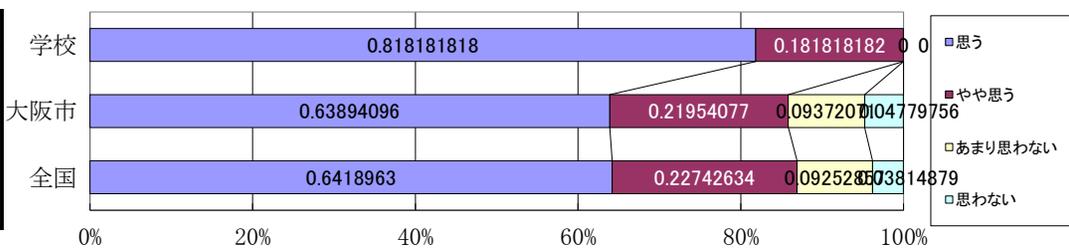
検証項目2
 体育の授業は楽しいですか。



検証項目3
 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツへのいろいろな関わり方について、きょうみや関心がありますか。① 運動やスポーツをすること



検証項目4
 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



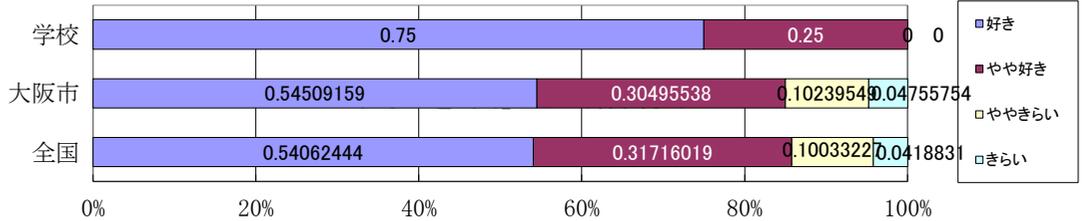
考察
 男子は、項目1や項目2について肯定的に答えた児童の割合は100%で、大阪市・全国平均を上回っており、運動することが好きで、休み時間にも外に出て遊ぶ習慣が身につけている児童が多いことが分かる。また、項目3や項目4から、運動やスポーツをすることに大変興味があり、将来的にも運動を続けたいと考えている児童がほとんどであることがわかる。

今後の取組
 男子は運動やスポーツをすることに非常に肯定的であるので、運動能力調査結果を振り返り、自分が苦手とする運動や種目を意識しながら日々の活動に取り組むことで、さらに意欲を高めていきたい。

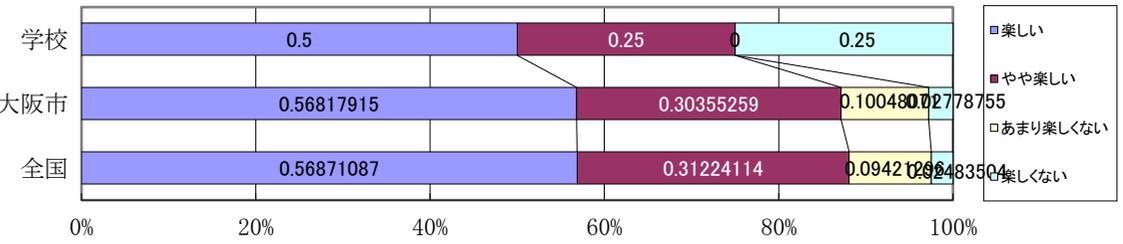
運動やスポーツ、体育の授業について（女子）

本校の特徴的な結果

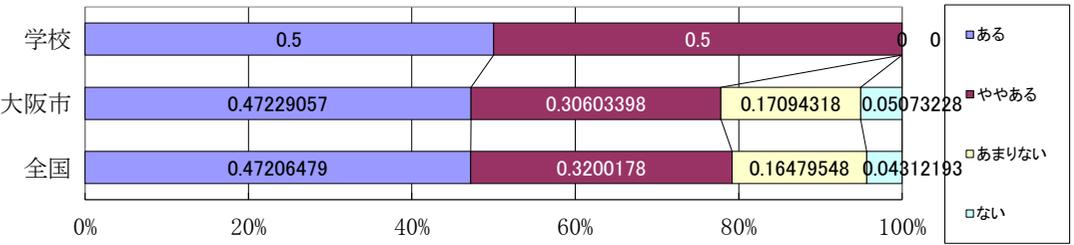
検証項目1
運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



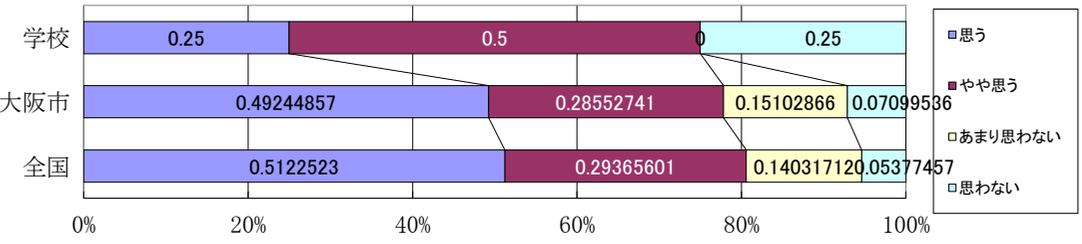
検証項目2
体育の授業は楽しいですか。



検証項目3
運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツへのいろいろな関わり方について、きょうみや関心がありますか。① 運動やスポーツをすること



検証項目4
中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



考察
女子は、項目1や項目3について肯定的に答えた児童の割合は100%で、大阪市・全国平均を上回っており、運動やスポーツをすることが好きであることがわかる。しかし、項目2では、肯定的に答える割合が大阪市・全国平均を下回っており、体育の授業での運動には苦手意識を持っている児童がいることがわかる。また、項目4から将来的に運動やスポーツに取り組むことに消極的な児童もいる。

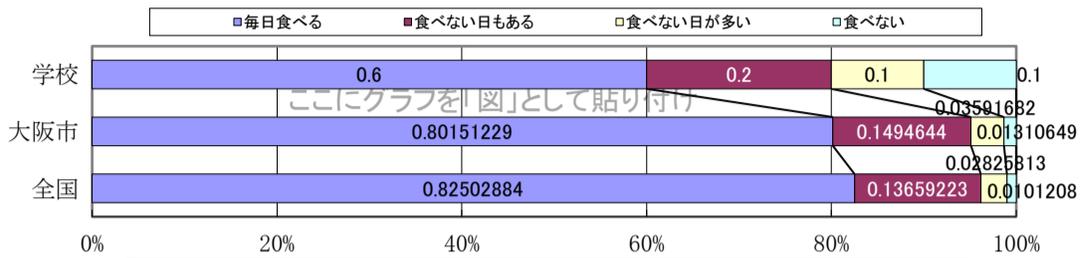
今後の取組
個人差もあるが、女子は運動能力調査の結果は多くの種目で大阪市・全国平均を上回っている。体育の授業でも楽しみを見出し、将来的にも運動やスポーツを続けたいと思えるような活動に取り組んでいきたい。

ふだんの生活について

本校の特徴的な結果

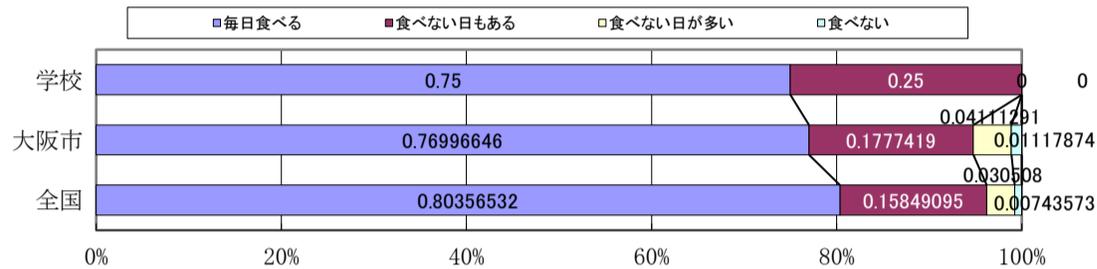
検証項目1:男子

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



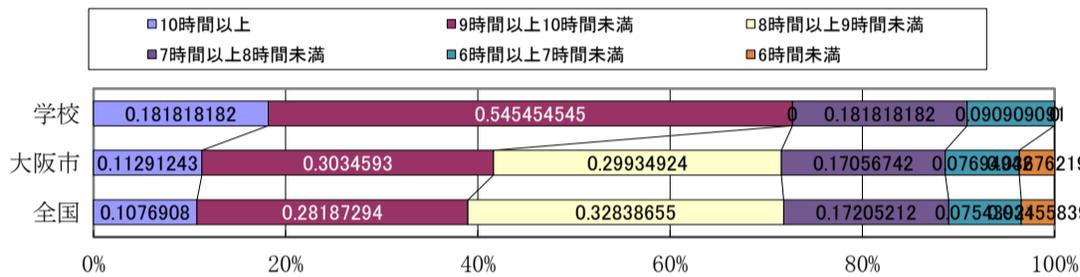
検証項目1:女子

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



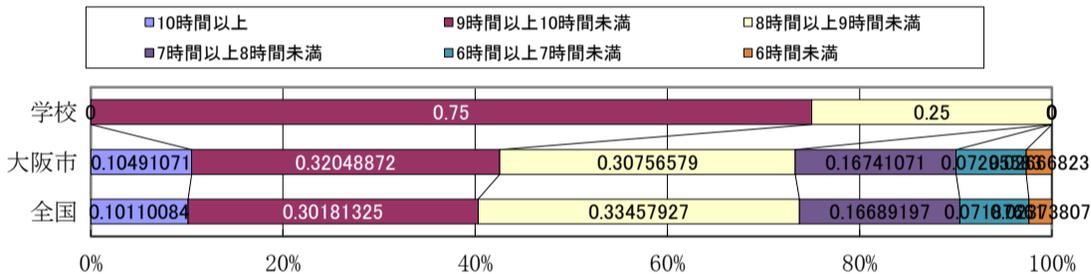
検証項目2:男子

毎日どのくらいねていますか。



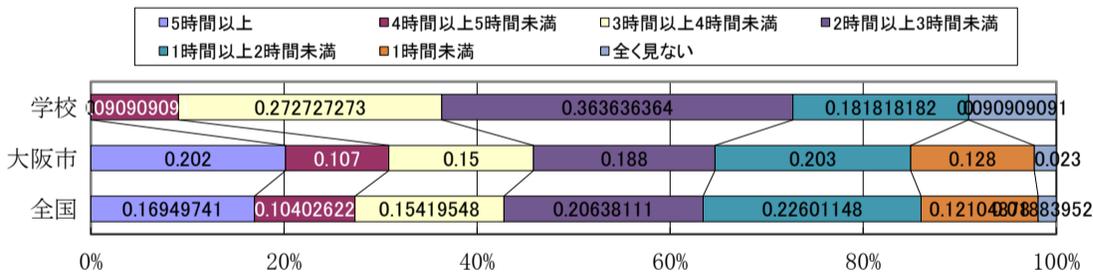
検証項目2:女子

毎日どのくらいねていますか。



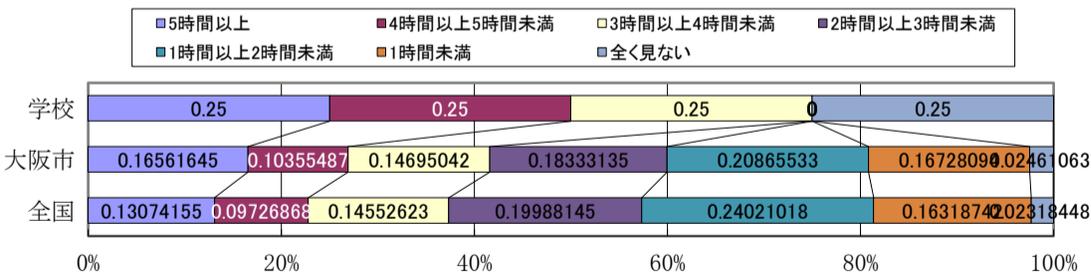
検証項目3:男子

平日(月~金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



検証項目3:女子

平日(月~金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。



考察

検証項目1では男子女子ともに「毎日食べる」と答える児童の割合が、大阪市・全国平均に比べると低くなっている。検証項目2から、睡眠時間については男女ともに十分取れているといえる。検証項目3から、画面を見る時間については、男子よりも女子のほうが大幅に多くなっていることがわかる。

今後の取組

朝食を食べる習慣や睡眠時間については、概ね良好な状態にあるといえるが、少数ではあるが朝食を食べない日がある児童や、女子の画面を見る時間の長さなど、今後も継続して指導していく必要がある。また、生活習慣にかかわる問題であり、児童への指導だけでなく、家庭への啓発も続けて行っていくことが大切である。